

第1回 木川小学校・西中島小学校・木川南小学校

学校適正配置検討会議 会議要旨

1 日時 令和5年3月23日(木) 19時00分から20時10分

2 場所 木川小学校 講堂

3 出席者

(委員)

東 委員、伊賀本 委員、猪野 委員、岩瀬 委員、永井 委員、中須賀 委員、中村 委員、南條 委員、福岡 委員、牧 委員、宮本 委員

(学校)

小倉 木川小学校長、小坂 西中島小学校長、山内 木川南小学校長

(教育委員会事務局)

岡本 淀川区担当教育次長、橋本 淀川区教育担当部長、井上 淀川区教育担当課長、生駒 淀川区教育担当課長代理、清水 教育政策課担当係長、佐藤 教育政策課担当係員、湧田 教育政策課担当係員

4 議題

- (1) 検討会議の位置づけ、枠組み、進行等について
- (2) 座長、座長職務代理者の指名
- (3) 次回以降の「会議」で具体化を検討する事項について

5 会議資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・次第(3) 資料 木川小学校・西中島小学校・木川南小学校学校適正配置検討会議について
- ・次第(5) 資料 今後の学校適正配置検討会議で具体化を検討いただく事項について
- ・【資料2-1】 開催要綱
- ・【資料2-2】 傍聴要領
- ・【資料2-3】 取材要領
- ・【資料2-4】 大阪市立学校活性化条例(抜粋)
- ・【資料4】 木川小学校・西中島小学校・木川南小学校学校再編整備計画

6 議事要旨

(1) 事務局より説明

- ・事務局から、検討会議の位置づけ・枠組み・進行等と、次回以降の「会議」で具体化を検討する事項について説明を行った。
- ・座長、座長職務代理者の指名を行い、座長に中村委員が、座長代理に福岡委員と牧委員が就任した。
- ・令和3年度から4年度にかけて開催した住民説明会での説明内容や説明状況について、事務局から補足説明を行った。

(2) 委員からの意見等の概要は以下のとおり。

【統合前後の児童・学級数の推移の状況について】

- ・西中島小学校の児童数が非常に少ない。統合になるという噂で新入生が非常に少なくなるのではないかと心配している。今年は12人入学してきて何とかなっているが、統廃合するとなれば、いつかは児童数が減ってしまって、成り立たない学年が出てくるのではないかと心配だ。統合実施年度まで西中島小学校に児童をいかに確保するかということが問題だ、何かよい知恵はないかと思う。
- ・木川南小学校に関しても、ここ数年はまだ一学年20人弱の児童数で推移しているが、統合の話が決定となり進んでいくと、西中島小学校と同様に入学者数が1桁になるかもしれない。あと5年のうちに、入学者数が減った時の学校規模としての対策も考えていかなければいけないと思う。
- ・今、低学年は1学級35人制だが、木川南小学校の保護者の感覚としては1クラスあたりの児童数が30人弱くらいの方が、先生の目が行き届きやすくて、クラスがまとまって落ち着くということがあった。そのため統合後の学校では、教室いっぱいぎゅうぎゅうに詰め込んで35人カツカツの学級ということにならないようにしてほしい。
- ・学校選択制がなければ、西中島小学校区にも入学対象者が32~33人くらいいるはずなのに、学校選択制のために他校区に出ていってしまう。来年度以降も学校選択制があることで児童数が減ってしまうので、統合までの期間、西中島小学校と木川南小学校では学校選択制を無くすことはできないのか。
- ・西中島小学校の保護者の中にも、木川小学校区等から西中島小学校を選択して子どもを入学させているケースがある。学校選択制を無くしてしまったら、いま選択制を活用して他校区から通っている子どもが卒業する時まで、ある程度の人数がいる状態を維持して卒業させてあげられるだろうか疑問だと思う。
- ・学校選択制があることによって、自宅から学校が近くなる子や、少人数だから頑張れる子が西中島小学校に来ていると思う。児童数がゼロになるのは嫌だし、何かしらの対策は必要だと思うが、本当に学校選択制を無くしていいのかわかるかどうかはよく検討しないと、少人数の学校を選んで通学したい人が入学できなくなる可能性もあると思う。

【通学路の安全確保の検討、対応状況について】

- ・今後の検討のために、木川南小学校では集団登校を行っているが木川小学校・西中島小学校ではどうなのか、また学校選択制で校区を越えて通学している場合、木川南小学校では木川南校区内の登校班に来て集団登校をしているが、各学校が学校選択制で他校区から来ている子がどのように登校しているのかを知りたい。

【学校再編整備計画に関すること、標準服、その他必要な事項について】

- ・標準服の有無について、木川南小学校も木川小学校も標準服があるが、西中島小学校が標準服があるかどうか、学校の状況を把握するために知りたい。
- ・現在の木川小学校の標準服に統一するというのはもう決定事項なのか。統合の際に標準服のデザインを変更することはないのか。
- ・中学校において、ジェンダーの観点からいろいろな選択ができる形の標準服に変えようという検討がされているという話を聞いた。
- ・木川小学校と木川南小学校は男子が半ズボン、女子はスカートという形の色違いの標準服だが、この機会にがらっと変えたり、何か選択できたりするような標準服の検討もしていただきたい。
- ・木川小学校に西中島小学校と木川南小学校が統合されるが、木川小学校という名前を残さずに3つ合同にして新しい名前にしてはどうかという意見を聞いている。統合後の学校名について、この検討会議で意見として出せば、実際に変更するかどうかに関わらず議論できるのか、それとも木川小学校で決定するとなるのか、どちらなのか。
- ・会議において具体化を検討する予定の項目は6項目あるが、建設の工事などを除けば今すぐ決めないといけないことだけでないと思う。タイムスケジュールを作っただき、これはいつまでに決めるものであるということを確認しておけばいいと思う。
- ・木川南地域と西中島地域については、この学校適正配置検討会議と「再編整備後の校地活用検討会議」の両方がある。今後いわゆる廃校になった後に、木川南小学校と西中島小学校の校地はいわゆる学校教育の用途として使うのか。防災の目的以外に、例えば学校の事業などで学校を利用する考えがあるのか教えていただきたい。
- ・木川南地域の中で、校地検討会議の委員に廃校後のことを相談されたときに、一緒になって地域のことを考えていかないといけないと思うので、今の段階で考えていることがあれば教えていただきたい。

(3) 今後の対応

- ・第1回で委員よりいただいた意見のうち、事務局からの説明や検討資料の提示が必要なものについては、次回の会議においてお示しする。